

平成30年度 大阪府立花園高等学校 第3回学校運営協議会の記録

- 1 日時 平成31年3月6日(水) 15時30分～16時40分
- 2 出席者 協議会 会長 学識経験者  
委員 学識経験者 地域自治会地区長 本校PTA会長  
校長 教頭 事務長 首席 生徒指導主事 教務部長 進路指導部長  
文化国際部部长 保健主事 3年学年主任 2年学年主任 1年学年主任
- 3 協議 本年度の取組と次年度の計画について
  1. 教務部体制の確立
  2. 教務部と進路指導部と学年が連携した文理・科目選択指導
  3. 自学自習の習慣の確立  
①到達度テストの導入(1, 2年生)
  4. 英語四技能の習得  
①新学習指導要領をふまえてWGでの検討
  5. HANAZONO探究プロジェクト  
①総合的な学習の時間を活用した探究学習  
②HANAZONO進路探究プログラム  
③ラグビーW杯応援プロジェクト
  6. 生徒指導の目線合わせ
  7. 次年度の課題
    - ① 新学習指導要領への対応
    - ② 国際教養科の再編
    - ③ 進路指導 旧入試制度最後の3年生と新しい大学入試制度への対応
- 4 報告 第2回授業アンケート結果報告  
① 30年度第1回アンケートと比較して9項目中8項目でポイントアップ  
学校教育自己診断報告
- 5 委員からの主な提言
  - ・自己診断は大切。チーム花園と言う体制が子どもに与える影響は大きい。
  - ・何年間か花園高校を見ているが、生徒指導が良い方向に向かっていると感じる。
  - ・花園高校への高い評価が選抜の倍率となって表れているのではないかと。
  - ・就職をする生徒は少ないと思うが、相談できる体制を常に整えておいてもらいたい。  
卒業生がいつでも帰ることのできる場所であってほしい。
  - ・LGBTなど人権教育の幅が非常に広がってきている。行政職も含めて学校全体で知識の蓄積が必要。
  - ・SDGsに取り組んでいるようだが、今後ユネスコスクールなどを考えてみてはどうか。